

継続が大切 ウォーキング教室

6月16日、健康づくり推進員主催のウォーキング教室を増尾近隣センター体育室で開きました。朝から、どんよりとした空模様でしたが、37名の参加がありました。普段からウォーキングをしている方がほとんどでしたが、継続することの大切さを再確認していただきました。

靴のはき方や靴ひもの結び方は、教えていただいても、忘れてしまいがちです。今回も、大切な足のために、歩幅、姿勢、速度などの指導を受け、大きな円を作って実際に何度も歩いてみました。最後は2組に分かれ、ボールを使うゲームをしました。いつしか我を忘れ夢中に。

また、来年もこの講座を開いてほしいとの声に、推進員一同はたいへん喜んでます。一緒に学習をした方々と、ウォーキング中にお会いできて挨拶が交わせたら最高ですね。

健康づくり推進員 増田 きぬ子

頑張るお父さん ちびっこ体操教室

6月25日、増尾近隣センター体育室に就学前の子どもの親15組が集まり、9時半から11時まで汗びっしょりになりながら楽しく過ごしました。

石原由紀子先生の指導で、まずウォーミングアップの準備体操。ちょっとお疲れ気味のお父さんは、普段使わない筋肉を伸ばしたり縮めたり。子どもを抱えて、右へ左へ。最初はおとなしかった子どもたちも、やがて元気に走り回ります。水分補給をしながら、広い体育室の中で、網くぐり、段ボールキャタピラー、ピョンピョンロディ、三角段ボールトンネルなどで、みんな汗だくです。

今年は赤ちゃんのいる2家族も参加。赤ちゃん連れでも参加できます。お兄ちゃんお姉ちゃんが主役のちびっこ体操教室に来年もたくさんの参加をお待ちしています。

文化体育部 小林 みつえ

ボランティア募集中

障がい者福祉施設で、毎月第2・第4金曜日、午前9時30分から12時まで、簡単な作業(園芸、手芸他)のお手伝いをしてくださる方を募集中。

地区社協部 吉川(TEL 7176-3631)まで、お問い合わせください。

小さな青白い光に感動 ホテル見学会

7月11日の月曜日、中原小学校下でホテル見学会を行いました。「増尾の森と水辺の会準備会(柏ホテルの会・柏自然ウォッチャーズ・増尾の里山を守る会・中原小学校)」の年間を通しての地道な保全活動のおかげで見学会ができました。若い世代の家族から70代の方まで、この日を楽しみにしていた110名が参加しました。

回廊式に整えられた見学コースで、ホテルを眺めながら「初めて見ました!」「何十年ぶりだろう」「友だちにも見せてあげたい」などの声が聞かれました。

ホテルを間近に見ることができた感動と保全活動をして下さった皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいの一夜でした。

文化体育部 小林 みつえ

「増尾ジェンヌの会」のお知らせ

増尾ジェンヌの会ではアロマ講座、サロンを随時開催しています。高齢者施設のヴィヴァンホームやマザアスホーム憩、障がい者施設のいずみ園に出向き、ハンドトリートメントをしています。毎年11月実施の「地域ふれあいのつどい」でのハンドトリートメントも好評です。

7月7日に、増尾近隣センターにてアロマ講座を開き、「香りのレッスン」というテーマで自分好みのアロマボトルを作りました。

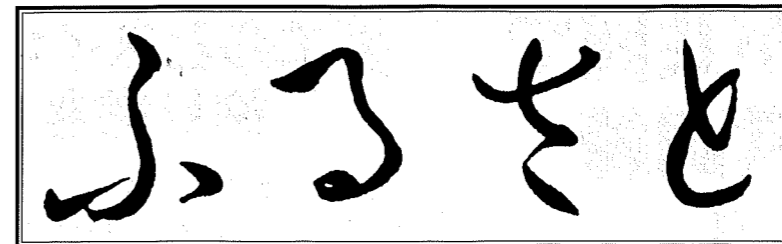
10月20日には、ハーブティーとのどスプレーを作るアロマ講座があります。

地区社協部「増尾ジェンヌの会」古川 康子

ふる協からのお知らせ

- 10月16日(日) 避難所運営訓練(柏南高等学校)
 - 10月20日(木) アロマ講座
 - 10月29日(土) 救急救命講習会(中学生対象)
 - 11月5日(土) 地域ふれあいのつどい
 - 11月5日(土)~6日(日) 文化祭
 - 11月5日(土)~6日(日) 環境フェア2016パネル展
 - 11月20日(日) 避難所運営訓練(土中学校・土小学校・増尾西小学校)
 - 12月4日(日) つくってあそびPart4
 - 12月25日(日) 年末夜間パトロール
- ※詳細は回覧、チラシ等でお知らせします。

We Love Kashiwa



吉田 稔 筆

みんな元気 住んで良かった この地域

平成28年10月 No.119

●編集・発行
柏市増尾地域ふるさと協議会
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
柏市増尾三丁目1番1号
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211
http://masuo80@live.jp

多世代交流コミュニティー 待望の「サロンますのこ」が始動

当ふる協では、多世代の交流を図る事業を推進しており、すでに土小学校を拠点とする「サロンつちのこ」が力強く活動中です。増尾地域全体の活動として充実させる目的で、6月に増尾西小学校を拠点とする「サロンますのこ」が続いて誕生しました。

増尾西小学校と地域の皆様のご協力を得て、6月18日オープンフェスティバルを開催するに至りました。「ふるさとの民話」をテーマに、体育館に昔の生活道具を展示。ボランティアで参加してくれた柏南高等学校生徒5名とスタッフらは、民話の世界のふん装で異彩を放ちます。子どもたちは、民話の紙芝居や吹き矢、割りばし鉄砲、輪投げなどのゲームで盛り上がりました。なかよしルームは、さき織り、折り紙、指編みなど、夢中で作品を作る子どもであふれ、外では障がい者団体とスタッフによる模擬店でにぎわいました。

この日を機に「サロンますのこ」は始動。毎週土曜日には、多くの子どもが遊びに来ています。スタッフは安心して過ごせる場でありたいと考えており、折り紙、将棋、小物づくりなど、一緒に楽しんでいます。「サロンつちのこ」「サロンますのこ」では、次世代を担う子どもたちと共に歩むスタッフを募集しています。詳細はホームページをご覧ください。サロンますのこ 柴田 桂子



なかよしルームは作品づくりの子どもでいっぱい

私の町会・自治会だより

皆さんの町会・自治会を紹介していくコーナーです。

南ヶ丘自治会

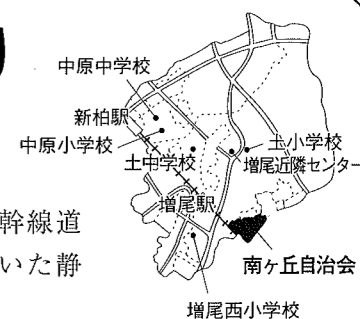
南ヶ丘自治会は、220世帯から成る自治会です。昭和51年から柏市開発公社が販売を始め、平成14年のピーク時には、270世帯が入居していました。公社の売り出し名が「増尾南ヶ丘団地」であったことから、今の名称になりました。

昭和58年に自治会館を建設し、今も役員会をはじめ色々な活動に使用しており、近隣の町会にも利用いただいています。平成9年には、地縁団体登録申請を行い法人化している自治会でもあります。場所は、逆井駅近くの千葉興業銀行を左に下ったあたり

一帯になり、通り抜けの幹線道路が少ないため、落ち着いた静かな住みよい街です。

販売から40年を経過し、住民の多くが70~80代を迎え、ご多分に漏れず高齢化が大きな問題となっています。準備などの労力が負担となる夏祭り実施の可否が、毎年役員会で大きな議題になりますが、日本人の原風景のようななつかしい太鼓の音や、子どものはしゃぐにぎやかな声を楽しみに、今年も実施しました。

会長 藤井 敬三



行政と住民が共同で 避難所運営訓練 防犯防災部

柏市の防災訓練事業とふる協17町・自治会の共同で、震度6強を想定し、「共助と公助の連携」をテーマに災害訓練を実施します。被害状況や支援物資の要請などの情報伝達と避難所の運営の訓練を重点に行います。

情報伝達の訓練は、柏市役所内に設置される「災害対策本部」、増尾近隣センター内に設置の「地区災害対策本部」、避難所の「各地区避難所本部」そして各町・自治会の間を、柏市防災無線と昨年導入した無線トランシーバーを使い、実践的に行います。

避難所では、住民による炊き出し訓練を実施。熊本地震の時、避難所でおにぎり1個をもらうため2～3時間並ぶという事態が起きたことから、行政に依存せず、住民で行う訓練も必要と考えたためです。

柏市では、行政と住民が一体となって災害訓練を実施するのは初めての事です。大規模震災が発生した時に備え、いざというときに慌てないための訓練にしたいと思います。

今回の訓練は、増尾地域内の避難所のうち4か所で行う。10月16日(日)柏南高等学校体育館、11月20日(日)土中学校体育館・土小学校体育館・増尾西小学校体育館に分かれて行います。後日、各町・自治会から訓練の案内がありますので、ご協力をお願いいたします。

防犯防災部 志水 房夫

カエルとスイカの模様 飾り巻きずし

8月7日、増尾近隣センター調理室で地区社協部主催の「二人でクッキング」を実施しました。

今回は、カエルとスイカの模様の飾り巻きずし、具たくさんスープ、フルーツ白玉を作りました。

野菜はたくさん皮をむいたり、刻んだりしなければなりませんでしたが、子どもたちは真剣な表情で、一生懸命材料の準備をしました。

また、白玉団子を作っている時に、沸騰したお湯に落とすお団子が浮かび上がってくると、思わず「わあ」という声。お母さん方が所々でアドバイスをしながら、親子で作る料理を楽しんでいました。巻きずしは指導して下さった先生のようにうまくできなくても、いろいろな表情のカエルができました。

最後には自分たちが作った料理を味わい、おなかがいっぱいになりました。 地区社協部 成田 聡子



表情豊かなカエルの飾り巻きずしが並びました

命を救う応急手当 防犯防災部

「自治会防災の救護班に所属しているので役立てたい」「わが子がかもしもの時のために」このようなメッセージを添えて24名の申込みがありました。7月9日、増尾近隣センター体育室で行った救急救命講習は、6名の東部消防署救急隊に指導をいただきました。講習会は中高生向けと一般対象を合わせて、今回で9回目になります。

5年の間にDVDの内容が、実際に救命に関わった方のメッセージが加わり、より緊迫感のあるものになりました。再受講の皆さんは変化に気づかれましたでしょうか。朝9時からみっちり受講



救命処置の実技

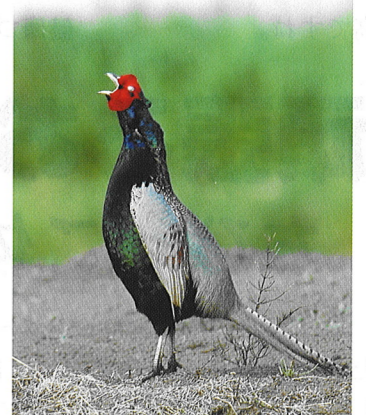
された皆さんからは、「家族の命を救うため参加しましたが具体的でためになりました」「心臓マッサージを胸骨圧迫と言ひ、とても力が必要で疲れることがわかった」「万が一の時には逃げずに対応したい」「見ただけでは判らない救命処置の一連の実技は、最高の勉強になりました」などの声が聞かれました。

この講習で“命の尊さ”と“人の役にたてること”を体感していただいたようです。 防犯防災部 間宮 節子

レンズでのぞいた増尾の自然 篠崎 将 キジ

日本の国鳥である。ケーンという甲高い鳴き声は、雄が雌の興味を引くためといわれている。鳴くのは3月頃からで、冬季はまだ枯草ややぶの中で、じっと寒さに耐えている。この時期、草むらを行っていると、驚いたキジが鳴き声をあげてやぶの中から飛び出すことがある。その声の大きさと羽音に人も驚かされる。

雄の全長は約80cm。頭部、首、胸、腹は、緑がかかった光沢のある黒で、顔は赤い。背は光沢のある灰褐色で、黒い横斑がある。雌は雄よりも少し小さく、尾も短いのが特徴。全体に黄褐色の地に黒褐色の斑紋がある。夏の繁殖期には、1羽の雄が2羽以上の雌を連れていることが多く、うらやましい限りである。しかし、秋冬には雄雌それぞれで、別の群れをつくっていることが多い。雄雌の関係が固いのか、そうでないのかよくわからない鳥である。繁殖期の雄は羽ばたきながら鳴くことが多い。



増尾城址公園近くの畑で

雨のため1日だけとなった盆踊り。たくさん踊ろうね 増尾町会夏祭り(8/21)



人気の模擬店会場は毎年長蛇の列。人があふれます 松野台自治会夏祭り(7/16・17)



おごそかな廣幡八幡宮 神輿渡御修祓(みこしとぎよしゅうふつ)式(7/24)



夏の間中、週末になると、どこからともなくおはやしが聞こえてきます。夏を感じる瞬間ですが、祭りの主催者にとっては心配の多い季節でもあります。今年も雨のため、一部日程の変更がありました。

夏の音



楽しいおもちゃが所狭しと並びます 加賀町会夏祭り(8/6・7)

雨のため1日遅れの夏祭り。練習した腕前を披露できてよかったね 南ヶ丘自治会夏祭り(8/21)



射的の店を独り占め 第一住宅増尾団地自治会夏祭り(8/6・7)